

JST出展のご案内

国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST) では、科学技術によるイノベーション創出を推進するための各種事業を実施しており、これまでに多くの成果を創出してまいりました。

JASIS2016では、研究開発成果を展開する取り組みである「研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP)」と「先端計測分析技術・機器開発プログラム」、「センター・オブ・イノベーション (COI) プログラム」の最新の成果の中から、計測・分析技術に関する選りすぐり18課題を展示いたします。また、会期中は開発者が展示内容について皆様にわかりやすくプレゼンテーションいたします。是非 JST ブースまでお越し下さい。

開催期間

平成28年
9月7日(水)・8日(木)・9日(金)

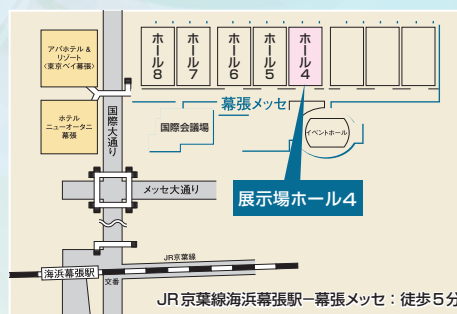
場所

幕張メッセ国際展示場
ホール4

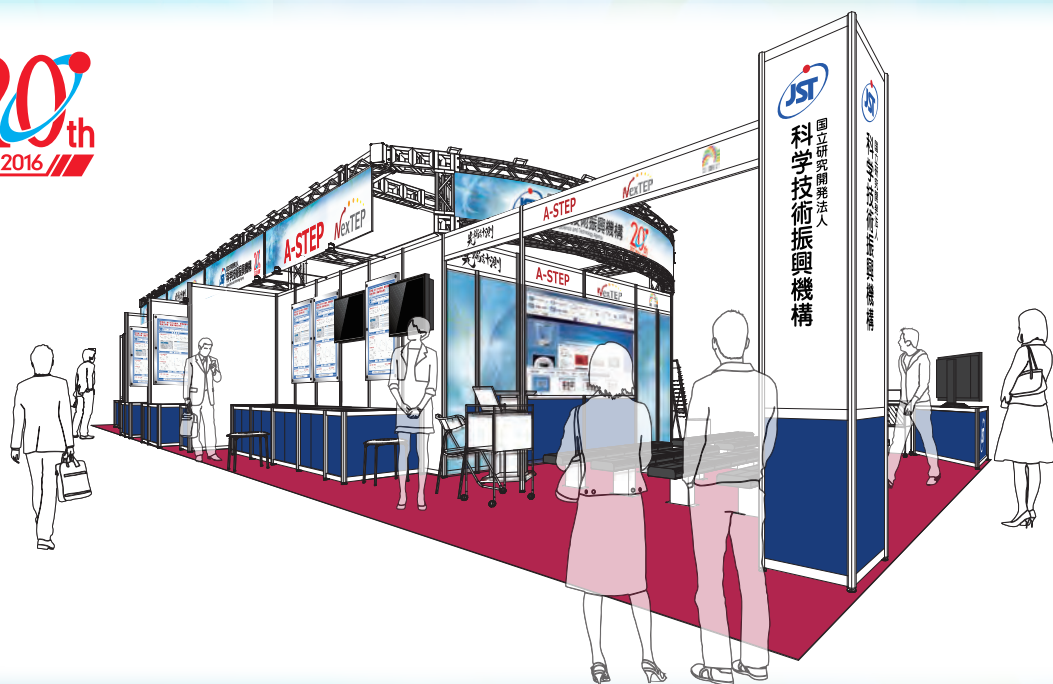
ブース 4A-101

入場無料

事前申込不要



20th
JST 2016



お問い合わせ先

先端計測分析技術・機器開発プログラム	TEL : 03-3512-3529	E-mail : sentan@jst.go.jp	URL : http://www.jst.go.jp/sentan/
研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP)	TEL : 03-5214-8994	E-mail : a-step@jst.go.jp	URL : http://www.jst.go.jp/a-step/
産学共同実用化開発事業 (NexTEP)	TEL : 03-6380-8140	E-mail : jitsuyoka@jst.go.jp	URL : http://www.jst.go.jp/jitsuyoka/
センター・オブ・イノベーション (COI) プログラム	TEL : 03-5214-7997	E-mail : coi@jst.go.jp	URL : http://www.jst.go.jp/coi/

プレゼンテーションプログラム

平成28年9月7日(水)・8日(木)・9日(金) 参加費 無料

幕張メッセ国際会議場展示場ホール4 ブース 4A-101

7日(水) 1日目

S 0	10:30	先端計測分析技術・機器開発プログラム説明
S 1	10:40	発電中燃料電池内の3次元酸素濃度測定
S 2	10:50	ピコリットル液滴ハンドリングによるマイクロ液体物性計測
S 3	11:00	プローブスキャン方式高速AFMシステムと応用展望
S 4	11:10	回転電場を使った新方式質量分析器の開発
S 5	11:20	多核対応型クライオコイルMAS-NMRプローブ
S 6	11:30	小型簡易迅速感染症診断システムの開発～結核の即日診断を目指して～
S 7	11:40	マルチカラー化学発光タンパク質によるイメージングパラダイムシフト
S 8	11:50	材料・デバイス内部の電磁場を直接観察する電子顕微鏡法
	12:00	休憩
S 9	13:00	いつでも・どこでも簡単細菌検査(ハンドヘルド高速リアルタイムPCR装置の開発)
S10	13:10	ハイパースペクトルイメージングによる応用例
S11	13:20	小型・安価・普及型高分子膜厚測定装置の開発
A 0	13:30	A-STEPプログラム説明
A 0	13:40	NexTEP-Aタイプ公募説明
A 1	13:50	高感度リアルタイム質量分析による食品などの直接分析の最前線
A 2	14:00	分析をコストから付加価値の創造へ、世界初の微粒子分析法で分散性、表面被覆状態を評価
A 3	14:10	安定な超高真空、低温TERS測定装置と銀バルク探針の開発
A 4	14:20	3次元指向性ボアホールレーダ(ReflexTracker®)システムの紹介
C 0	14:30	COIプログラム説明
C 1	14:40	微量体液によるがん診断を可能にするナノ診断システム
C 2	14:50	超音波CT(Computed Tomography)を用いた乳がんの早期発見技術の開発
C 3	15:00	パッチ式脳波計測システム
M 1	15:10	文部科学省共用プラットフォーム(A)
M 2	15:20	文部科学省共用プラットフォーム(B)
M 3	15:30	文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム
	15:40	終了

8日(木) 2日目

M 1	10:30	文部科学省共用プラットフォーム(A)
M 2	10:40	文部科学省共用プラットフォーム(B)
M 3	10:50	文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム
A 0	11:00	A-STEPプログラム説明
A 0	11:10	NexTEP-Aタイプ公募説明
A 1	11:20	高感度リアルタイム質量分析による食品などの直接分析の最前線
A 2	11:30	分析をコストから付加価値の創造へ、世界初の微粒子分析法で分散性、表面被覆状態を評価
A 3	11:40	安定な超高真空、低温TERS測定装置と銀バルク探針の開発
A 4	11:50	3次元指向性ボアホールレーダ(ReflexTracker®)システムの紹介
	12:00	休憩
C 0	13:00	COIプログラム説明
C 1	13:10	微量体液によるがん診断を可能にするナノ診断システム
C 2	13:20	超音波CT(Computed Tomography)を用いた乳がんの早期発見技術の開発
C 3	13:30	パッチ式脳波計測システム
S 0	13:40	先端計測分析技術・機器開発プログラム説明
S 1	13:50	発電中燃料電池内の3次元酸素濃度測定
S 2	14:00	ピコリットル液滴ハンドリングによるマイクロ液体物性計測
S 3	14:10	プローブスキャン方式高速AFMシステムと応用展望
S 4	14:20	回転電場を使った新方式質量分析器の開発
S 5	14:30	多核対応型クライオコイルMAS-NMRプローブ
S 6	14:40	小型簡易迅速感染症診断システムの開発～結核の即日診断を目指して～
S 7	14:50	マルチカラー化学発光タンパク質によるイメージングパラダイムシフト
S 8	15:00	材料・デバイス内部の電磁場を直接観察する電子顕微鏡法
S 9	15:10	いつでも・どこでも簡単細菌検査(ハンドヘルド高速リアルタイムPCR装置の開発)
S10	15:20	ハイパースペクトルイメージングによる応用例
S11	15:30	小型・安価・普及型高分子膜厚測定装置の開発
	15:40	終了

9日(金) 3日目

C 0	10:30	COIプログラム説明
C 1	10:40	微量体液によるがん診断を可能にするナノ診断システム
C 2	10:50	超音波CT(Computed Tomography)を用いた乳がんの早期発見技術の開発
C 3	11:00	パッチ式脳波計測システム
S 0	11:10	先端計測分析技術・機器開発プログラム説明
S11	11:20	小型・安価・普及型高分子膜厚測定装置の開発
S10	11:30	ハイパースペクトルイメージングによる応用例
S 9	11:40	いつでも・どこでも簡単細菌検査(ハンドヘルド高速リアルタイムPCR装置の開発)
S 8	11:50	材料・デバイス内部の電磁場を直接観察する電子顕微鏡法
	12:00	休憩
S 7	13:00	マルチカラー化学発光タンパク質によるイメージングパラダイムシフト
S 6	13:10	小型簡易迅速感染症診断システムの開発～結核の即日診断を目指して～
S 5	13:20	多核対応型クライオコイルMAS-NMRプローブ
S 4	13:30	回転電場を使った新方式質量分析器の開発
S 3	13:40	プローブスキャン方式高速AFMシステムと応用展望
S 2	13:50	ピコリットル液滴ハンドリングによるマイクロ液体物性計測
S 1	14:00	発電中燃料電池内の3次元酸素濃度測定
M 1	14:10	文部科学省共用プラットフォーム(A)
M 2	14:20	文部科学省共用プラットフォーム(B)
M 3	14:30	文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム
A 0	14:40	A-STEPプログラム説明
A 0	14:50	NexTEP-Aタイプ公募説明
A 1	15:00	高感度リアルタイム質量分析による食品などの直接分析の最前線
A 2	15:10	分析をコストから付加価値の創造へ、世界初の微粒子分析法で分散性、表面被覆状態を評価
A 3	15:20	安定な超高真空、低温TERS測定装置と銀バルク探針の開発
A 4	15:30	3次元指向性ボアホールレーダ(ReflexTracker®)システムの紹介
	15:40	終了